

事業所名

わくわく未来2

支援プログラム（参考様式）

作成日

25年

3月

25日

法人（事業所）理念		元気がわく 元気がわく ほほえみが、友情が、アイデアがわく									
支援方針		子ども達の社会性を育て、一人ひとりが「できること、得意なこと」を増やし、自分の事は自分で出来る様、保護者と一緒に取り組み社会性を育て、地域社会の一員として笑顔で豊に生きる力を育てます。									
営業時間		放課後	11時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	○あり	なし
営業時間		土曜日	9時	30分	から	15時	30分	まで	送迎実施の有無	○あり	なし
営業時間		学校休業日	9時	30分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<p>身近自立訓練の活動として、手洗い、トイレトレーニング、自分の荷物の管理、夏季休業中のプール活動時に行う着替えと体を拭く練習、着替えの管理、身だしなみを整える、自立して食事を行える、買い物学習等の支援をおこなっています。</p> <p>土曜日の活動では定期的に調理実習をおこない、調理器具の使い方などを学んでいただいています。</p>									
	運動・感覚	<p>運動：森へのウォーキングで、体力をつける活動をしています。また、広場でのサッカーでも体力、バランス感覚を育てます。</p> <p>公園での遊びを日常的に取り入れています。遊具での遊びの中で体幹トレーニングや身体の使い方を身につけていきます。</p> <p>感覚：季節の行事にちなんだ作品を季節ごとに作っています。ハサミやテープを使うことで手先の訓練をしています。</p>									
	認知・行動	<p>認知：ウォーキング時は交通ルールを学びながら安全に歩く練習をします。時計を読む、時間を気にして活動する習慣がつくような支援をしています。</p> <p>墨笑（墨アート）活動を通して、筆を持つ・座る・集中することを学びます。</p>									
	言語コミュニケーション	<p>帰ってきたときの「ただいま」の挨拶や、「ありがとう」「ごめんなさい」など、低学年の時から人とのコミュニケーションに欠かせない気持ちを表す練習をします。</p> <p>発語がないお子様でも、自分の気持ちを相手に伝えるコミュニケーションの取り方を獲得できるよう支援しています。</p> <p>発語があるお子様は、敬語の使い方や挨拶の仕方など、卒業後も困らない言葉遣いが習得できるよう支援していきます。</p>									
	人間関係社会性	<p>日々の活動や遊びを通して他者とコミュニケーションをとること、他者との関わり方を学ぶ支援をしています。</p> <p>お友達とけんか等のトラブルがあった際は、解決方法をご本人と一緒に考えます。</p> <p>遊びの中でルール・約束を守ることの大切さをつたえる支援を行っています。</p>									
家族支援		<p>レスパイトケア、卒後の進路に対するアドバイスや具体来な支援の方法のアドバイスもおこなっています。他事業所とのつながりを持つことで社会資源を正確に把握し紹介することができるように努めています。</p>						移行支援		各学校や関係機関と連携をおこない利用者本位の総合的支援を行います。必要に応じて学校見学他事業所の訪問をおこない、支援方法の統一性と向上を目指しています。	
地域支援・地域連携		<p>瀬谷区児童部会、放課後等デイサービス事業所連絡会への参加、他放課後等デイサービス事業所との連携および情報交換、近隣小学校の公開授業への参加</p>						職員の質の向上		虐待防止・身体拘束適正化検討会、事業所内支援会議、外部講師を招いた研修の実施	
主な行事等		<p>季節に合わせた活動（工作活動・調理イベント等）、防災訓練（避難訓練・防災センターでの体験参加）、長期休み中の外出企画（公共交通機関を使う練習）、外食企画、春の木神明社例大祭での発表、花博イベントへの参加</p>									